



第200号(令和2年4月)

今号の写真:南会津町田島の桜

《 目 次 》

- 第200号発刊にあたって
- 人事異動のお知らせ
- トピックス
  - ・南会津水稻GAP班が結成されました！
  - ・そば講習会を開催しました！
  - ・「会津田島アスパラ」キャンペーン開催中！
  - ・中山間地域総合整備事業下郷地区営農飲雑用木工事の着手
- 農林事務所からのお知らせ
  - ・緑の募金に御協力お願いします
  - ・防霜対策について
  - ・キラリと光る南会津の6次化商品～ブルーベリージュース～
- コラム
  - ・職員のつぶやき～南会津のうりん雑感～

令和2年4月30日発行 福島県南会津農林事務所

## 第200号発刊にあたって

令和2年度のスタートにあたり御挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃より地域の農林業振興に御尽力をいただき、感謝申し上げます。

このたび「南会津のうりんニュース」は、平成10年6月の第1号が発刊されて以来、今回で第200号となりました。これも、町村をはじめ関係機関・団体、地域の皆様からの多大なる御支援によるものと改めて御礼を申し上げます。今後も身近な広報誌として親しんでいただけるよう努めてまいります。

さて、昨年度を振り返りますと、10月の台風19号により南会津地域におきましては、農林業の被害額が16億4千万円と大きな災害に見舞われました。当事務所では、被災地区の農林業の速やかな再開に向けて復旧対策に最優先に取り組んでいるところです。また、明るい話題として、教育旅行における農家民泊の受入数が震災前の4,148人を超え5,093人となるなど、交流人口の拡大に向けた取組の成果が見られました。

今年度は、復興創生期間後の10年を見据えた南会津地域の農林業の持続的発展に向け、引き続き、「流通・販売の強化」「生産活動の拡大」「生産基盤の整備」の3つの柱で、現場の状況を踏まえた施策をきめ細やかに展開してまいります。

「流通・販売の強化」につきましては、引き続き第三者認証GAPの団体認証取得を促進するほか、マーケット・インによる6次化の推進などに取り組んでまいります。

「生産活動の拡大」につきましては、南郷トマトや会津田島アスパラ、リンドウなどの産地の維持・拡大、県オリジナル米「里山のつぶ」の生産振興、きのこ類の周年安定生産や地域内木材の利用促進等に努めてまいります。

「生産基盤の整備」につきましては、農業農村整備事業新規調査地区の着実な事業実施、要望地区の採択に向けた計画の精査、4年目を迎えた「林業成長産業化地域構想」に基づく認証林の拡大や地域材のブランド化を進めてまいります。また、鳥獣被害の防止対策や森林づくりへの意識醸成を目指した里山林整備を引き続き実施してまいります。

さらには、令和2年1月に策定した「中山間地農業ルネッサンス事業」地域別農業振興計画に基づき、関係機関・団体と連携し、南会津地域の農業・集落が抱える課題に対応し中山間地農業を元気にするための支援事業に取り組んでまいります。

これからも、南会津地域の農林業振興に向けて職員一丸となって取り組んでまいりますので、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

福島県南会津農林事務所長  
おおとも いさお  
大友 勇雄

# 人事異動のお知らせ

4月の人事異動により26名が転出し、25名が新たに配属となりました。

## 転入者（カッコ内は旧所属等です）

|          |   |
|----------|---|
| ●総務部     | 飯村勝治(県中農林事務所)、坂内勇太(会津若松建設事務所)、遠藤禎(市町村総室)、佐久間直人(新規採用)  |
| ●企画部     | 半沢伸治(生産流通総室)、鈴木洋児(会津若松建設事務所)、滝沢智子(文書管財総室(公立大学法人会津大学))、大関健夫(企画調整総室)、今田弘樹(新規採用)                   |
| ●農業振興普及部 | 穴澤崇(農業総合センター)、大河内栄(農業総合センター農業短期大学校)、工藤夏実(生産流通総室)、安藤仁志(こども未来局)、廣瀬允康(生産流通総室)、渡邊憲弘(新規採用)、東春樹(新規採用) |
| ●農村整備部   | 岡田拓也(相双農林事務所)、荒川めぐみ(農村整備総室)   |
| ●森林林業部   | 上野徳夫(森林林業総室)、渡部浩幸(県北農林事務所)、五十嵐正徳(会津農林事務所)、東村真太郎(会津農林事務所)、平塚美紀男(森林林業総室)、大竹勇希(森林林業総室)、伊藤瞬(森林林業総室) |

## 転出者（カッコ内は転出先です(退職者含む)）

|          |   |
|----------|---|
| ●総務部     | 七海弘明(会津農林事務所)、佐野洋平(こども未来局)、相原友里(農村整備部(嘱託員))   |
| ●企画部     | 小檜山厚(県北農林事務所伊達農業普及所)、長嶺一也(会津保健福祉事務所(再任用))、加藤香織(農林水産総室)、山崎紘司(若松乳児院)、遠藤雄大(いわき農林事務所)                                 |
| ●農業振興普及部 | 長谷川優子(会津農林事務所喜多方農業普及所)、佐藤美香(県南農林事務所)、古和田暎(生産流通総室)、皆川悟(喜多方桐桜高等学校)、石川貴悠(健康衛生総室)、今井貴浩(会津農林事務所)、木村真澄(生産流通総室)、仲川利一(退職) |
| ●農村整備部   | 松本幸治(県南農林事務所)、星泰彦(農村整備総室)、南川駿(相双農林事務所)  |
| ●森林林業部   | 大久保圭二(林業研究センター)、樋田和美(県南農林事務所)、山田憲司(県南農林事務所)、小檜山敦(森林林業総室)、平野浩一(会津農林事務所)、山口公康(会津農林事務所)、田崎実(会津農林事務所)                 |

## トピックス

### 南会津水稻GAP班が結成されました！

2月14日に、南会津水稻部会の中からJGAP取得希望者が集まり、団体認証の取得に向けた説明会が開催され、「南会津水稻GAP班」が結成されました。3月23日には現場での勉強会を実施し、班員の倉庫を実際に見学しながら、認証取得に必要なものや作業上のリスク管理について、各自確認しました。

現在、JGAP認証取得に向けて、日々の水稻作業の見直しに取り組んでいるところです。認証取得により安全な農産物生産をPRし、販路の拡大につなげていけるよう、当事務所もJAと連携し取組を支援してまいります。

(農業振興普及部)

### そば栽培講習会が開催されました！

2月17日に、下郷町の主催により生産者向けの「そば栽培講習会」が開催されました。講習会には南会津地域のそば生産者約20名が出席し、当事務所からは令和元年度に設置したそば施肥実証ほ場の結果を発表しました。その内容は、実証ほ場では「土壌中のリン酸が不足しており、リン酸の追加施用を行うことで収量が改善する傾向がみられた」というものです。出席者からは、経費面を考慮しながら次年度のそば栽培における施肥及び土作りの参考にしたいとの意見がありました。

そばは南会津地域の重要な土地利用型作物で、観光資源としても大きな役割を担っています。当事務所では、今後も関係機関と連携してそばの生産振興を推進してまいります。

(農業振興普及部)



現地勉強会の様子



講習会の様子

## 「会津田島アスパラ」キャンペーン開催中！

「会津田島アスパラ」は、南会津郡で生産されるアスパラガスです。朝晩の寒暖差がもたらす抜群の甘み、グリーン・ホワイト・パープル・ピンクの4色アスパラガスが特徴です。平成29年には全国初となるアスパラガスの地域団体商標を登録しました。

キャンペーンでは、地元の飲食店で「会津田島アスパラ」を使用した特別メニューを期間限定で提供しています。

### ○キャンペーン期間

令和2年4月11日（土）～5月18日（土）

### ○提供店（「会津田島アスパラ」ののぼりのあるお店が目印です）

南会津町内の6店舗

- ・「富じ亭」
- ・味の食卓「はだかや」
- ・海人山人「ちょっ古蔵」
- ・蕎麦「みやもり」
- ・無何有の郷「せもりな」
- ・「丸山館」

※営業時間等については各店舗にお問い合わせください

（農業振興普及部）



キャンペーンチラシ

## 中山間地域総合整備事業下郷地区 営農飲雑用水工事の着手

下郷地区では、下郷町全域を対象に平成30年度に事業の採択を受け、農業生産を支える水路整備や農村集落の生活を改善する営農飲雑用水（水道施設）の整備、地域の防災機能向上を図る農業防災情報無線の整備を進めることとしています。

昨年秋に発生した台風19号に伴う災害復旧の影響で工事着手が遅れが生じていましたが、このたび、芦ノ原集落において営農飲雑用水の水道管理設工事に着手しました。これまで集落内には水道施設が無く、各家庭毎に独自水源から生活用水を導水していましたが、本事業にて集落共同の水道施設を整備することで、生活用水や農作物の洗浄・育苗などに必要な水量の安定確保と滅菌処理した安

全な飲料水の供給が可能となります。

（供用開始目標：令和4年度）

下郷地区において、今年度は更に農業防災情報無線や農業用水路工事に着手予定のため、農業者及び近隣住民の皆様には御理解と御協力をお願いします。

（農村整備部）



芦ノ原の導水管工事着手

## 農林事務所からのお知らせ

### 緑の募金に御協力をお願いします

毎年皆様に御協力をいただいている「緑の募金」の令和2年度春季募金が、4月1日から5月31日まで行われています。

御協力いただいた「緑の募金」は、緑化に対する理解と認識を深めていただき、地域社会における緑化を積極的に推進するため、緑の少年団の活動支援や県内の学校、公共施設等に緑化苗木を配布する環境整備、地方植樹祭・育樹祭、学校緑化活動への支援などに活用されています。

今年度は「木を植えて 守り育てる 緑の大地」を緑化運動テーマとして、緑豊かなふるさと再生や豊かな森林を次世代へと引き継いでいくための活動を推進してまいりますので、御協力をお願いします。

（森林林業部）



令和元年度緑の募金街頭キャンペーン（南会津）

## 防霜対策について

南会津農林事務所では、3月25日(水)から6月5日(金)まで「南会津地方防霜対策本部」を設置し、関係機関・団体と連携して防霜対策技術などの情報提供を行っています。

次のような気象条件の時には凍霜害が発生しやすくなります。降霜が心配される際は被覆資材を活用して保温などの対策に努めましょう。

- 降雨後に肌寒い北寄りの風が吹いている
- 夕方になって風が止んだ
- 夜になって晴れ上がり、雲はなく底冷えがする

また、毎年のように不順な天候が続いていますので、霜注意報の他にも気象台の発表する警報や注意報等、気象情報を日頃から確認し、農作物の管理に十分注意しましょう。

(農業振興普及部)



南会津地方防霜対策本部看板設置  
(3月25日、南会津合同庁舎にて)

## キラリと光る南会津の6次化商品 ～ブルーベリージュース～

南会津町中荒井に事業所を構えるNPO法人あたごでは、地域に暮らす障がいのある方の支援を行っており、その一環として農福連携や6次化商品の開発に取り組んでいます。道の駅等で、かわいらしいパッケージのドライフルーツや羊羹などをご覧になった方もいらっしゃるかもしれません。

そのラインナップに、この度、ブルーベリージュースが仲間入りしました。ジュースの原料は、標高600mで育ったあたご産ブルーベリー



ブルーベリージュース

で、無農薬栽培にこだわり、FGAP認証も受けています。果汁50%ジュースですが濃厚な仕上がりで、そのまま飲んでも炭酸水やお酒で割ってもおいしくいただけます。

販売価格は1本500円で、「道の駅きらら289」、「道の駅あいづ」、「道の駅たじま」で購入できます。

(企画部)

## コラム

### 職員のつぶやき～南会津のうりん雑感～

立春を過ぎても南会津の朝は、まだ氷点下です。毎朝、公舎を出て、胸一杯に吸い込む冷たい新鮮な空気は、一日の始まりを伝えてくれます。

この地の寒暖の差や豊かな雪解け水、夏の涼しさ等、数々の恵まれた環境から生まれる質の良い農産物は、本当に美味です。

昨年春着任したばかりの頃、手軽に調理できるアスパラガスをすすめられました。

このアスパラガスは、太くてみずみずしく、甘みやうまみがぎゅっと詰まっているのが特徴です。私は朝取りアスパラを茹で、マヨネーズを付けてよく食べています。

色もグリーン・ホワイト・パープルのほかにピンクもあり、「会津田島アスパラ」として出荷されています。豊かな自然の中で育つ、旬の野菜を是非楽しんでください。

(次長 永澤英樹)



四色の会津田島アスパラ

### お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a>

電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。